

標準学級数に対する普通教室数の保有状況を市部、郡部別にみると、表2-3-11のとおり、普通教室数が標準学級数より不足する学校は、郡部には全くなく、市部のみである。

普通教室数が標準学級数に等しい学校及び普通教室が標準学級数より多い学校は、市部よりも郡部に多い。

表2-3-11 標準学級数に対する普通教室保有状況

(単位：校，%)

区分	項目 学校数	普通教室数が 標準学級数より 不足する学校	学校数 に対する 左の比率	普通教室数が 標準学級数に 等しい学校	学校数 に対する 左の比率	普通教室数が 標準学級数より 多い学校	学校数 に対する 左の比率
市部	121	17	14.0	44	36.4	60	49.6
郡部	142	—	—	70	49.3	72	50.7
県全体	263	17	6.5	114	43.3	132	50.2

- 注：1. 「公立学校建物の実態調査報告」(昭51)による。  
 2. 郡部とは、福島市他9市を除く、町村である。  
 3. 学校数には、分校を含む。

特別教室の保有状況をみると、表2-3-12のとおり、保有数は、視聴覚教室、図書室、特別活動室及び職業教室を除き、昭和48、49年度において、それぞれ前年度より減少し、昭和49年度以降、ほぼ漸増する傾向を示している。職業教室の保有数は、昭和49年度まで横ばい状態で推移するが、昭和50年度には、減少する。

表2-3-12 特別教室の保有状況

(単位：教室)

年度	項目	理科教室	音楽教室	美術教室	技術教室	家庭教室	職業教室	視聴覚教室	図書室	特別活動室
46		341	268	138	325	420	24			
47		343	270	139	345	427	25			
48		340	258	145	338	403	25	62	206	26
49		334	253	134	321	396	25	66	209	36
50		345	264	155	327	413	21	81	226	75
51		348	258	162	340	421	22	95	231	88

注：「公立学校建物の実態調査報告」(昭46～昭51)による。

視聴覚教室、図書室及び特別活動室の保有数は、毎年増加する傾向を示すが、昭和50年度には

表2-3-13 中学校屋内運動場の保有状況

(単位：校，%)

年度	項目	学校総数	保有学校数	保有率
46		293	252	86.0
47		277	242	87.4
48		270	241	89.3
49		268	241	89.9
50		264	236	89.4
51		263	242	92.0

- 注：1. 「公立学校建物の実態調査報告」(昭46～昭51)による。  
 2. 保有率 = (保有学校数) ÷ (学校総数) × 100  
 3. 学校数には、分校を含む。

表2-3-14 屋内運動場の地域別保有状況

(単位：校，%)

地域	項目	学校総数	保有学校数	保有率
県北		46	44	95.7
県中		67	63	94.0
県南		18	18	100.0
会津		52	45	86.5
南会津		12	12	100.0
相双		28	25	89.3
いわき		40	35	87.5
県平均		263	242	92.0

- 注：1. 「公立学校建物の実態調査報告」(昭51)による。  
 2. 保有率 = (保有学校数) ÷ (学校総数) × 100  
 3. 学校数には、分校を含む。